

ポーランド政治クロノロジー(2010年6月)

月	内政	外交・軍事
6月	<p>1日 国家安全保障評議会招集。カチンスキ「法と正義」党首は同評議会を欠席。</p> <p>1日 コモロフスキ大統領代行, 在外最大ポーランド・コミュニティーであるロンドンを訪問。</p> <p>4日 パヴラク農民党党首, 大統領選挙綱領を発表。</p> <p>6日 ポピウシュコ神父の列福式典。</p> <p>6日 カチンスキ「法と正義」党首, ポーランド・独国境の街スウビツェを訪問。</p> <p>8日 国家選挙管理委員会, 洪水被害に関して自然災害宣言を発動する事態には至っていない旨政府に報告。</p> <p>8日 ボニ首相首席補佐官, 総額9億ズオティの洪水被害救済策パッケージを発表。</p> <p>8日 ロストフスキ財務相, 洪水災害のため, 本年の予算案を修正する可能性を示唆。</p> <p>9日 ベルカ元首相の中央銀行総裁選出に関する公聴会が財務委員会にて開催。</p> <p>9日 大統領候補者による公開討論開催(於:ワルシャワ大学)。カチンスキ「法と正義」党首及びナビエラルスキ民主左翼連合党首は地方遊説のため欠席。</p> <p>9日 ルブリンにて, カチンスキ「法と正義」党首の大統領選挙集会とパリコト議員(市民プラットフォーム所属)による反カチンスキ集会が開催。</p> <p>10日 コモロフスキ大統領代行, 洪水災害を協議するための閣僚理事会を招集。</p> <p>10日 下院において, ベルカ元首相が中央銀行総裁に選出。</p> <p>13日 主要大統領候補者4名による公開TV討論会実施。</p> <p>14日 欧州人権裁判所, ポーランドの公立学校が「宗教」の授業に出席を希望しない生徒・児童に対し, 代替する授業(単位)を提供しなかった事案につき人権侵害と認定。</p> <p>15日 チモシェヴィッチ元首相(民主左翼連</p>	<p>1日 オルバーン・ハンガリー首相, ポーランド訪問(-2日)。</p> <p>1日 シコルスキ外相, 第8回バルト海沿岸諸国首脳会議に出席(-2日, 於: ヴィリニユス)。</p> <p>1日 ピツェク・チェコ軍参謀総長, ポーランド訪問。</p> <p>2日 シコルスキ外相, 訪独(-3日, 於: ベルリン)。</p> <p>3日 コノヴァロフ露法相, ポーランド訪問(-4日, 於: ウッチ)。</p> <p>7日 ポーランド・フランス両上院による地方自治フォーラム開催(-8日, 於: ポズナン)。</p> <p>7日 サヴィツキ農相, ポーランド訪問。</p> <p>7日 レテルメ・ベルギー首相及びファンアッケレ・ベルギー副首相兼外相, ポーランド訪問(-8日)。</p> <p>7日 ドヴギェレヴィチ欧州担当閣外相, スウェーデン訪問(於: スtockホルム)。</p> <p>7日 ハム欧州米陸軍司令官, ポーランド訪問(-8日)。</p> <p>8日 ロストフスキ財務相, EU 財務相会合に出席(於: リヒテンシュタイン)。</p> <p>9日 トゥスク首相及び閣僚15名, 欧州委員のウィークリー会合に参加。トゥスク首相はファン・ロンパイ欧州理事会議長及びバローゾ欧州委員長と会談。</p> <p>10日 シェフチョヴィチ欧州委員会副委員長(機構間関係・行政担当), ポーランド訪問。</p> <p>10日 ヘーグ英外相, ポーランド訪問。</p> <p>10日 クリフ国防相, NATO国防相会合参加。</p> <p>12日 アフガニスタン派遣ポーランド軍部隊の車列がIED攻撃を受け, 兵士1名が死亡。</p> <p>13日 ドヴギェレヴィチ欧州担当閣外相, シェンゲン条約25周年記念式典に参加(-14日)。</p> <p>14日 シコルスキ外相, EU外務理事会・総務理事会に出席(於: ルクセンブルグ)。</p> <p>14日 ボリス・在ベラルーシ・ポーランド人連盟(ZPB)代表, 辞任を発表。</p> <p>14日 コモロフスキ大統領代行, 大統領となった際には NATO に混乱をもたらさない形でアフガニスタ</p>

<p>合), 大統領選挙においてコモロフスキ大統領代行支持を表明。</p> <p>16 日 裁判所は, カチンスキ「法と正義」党首に対し, コモロフスキ大統領代行が公立病院の民営化を支持しているとの主張を撤回するよう判決。カチンスキ党首は同決定を控訴。</p> <p>18 日 ワルシャワ控訴裁判所は, カチンスキ党首の控訴を認め, 先の裁判判決の再審を決定。</p> <p>20 日 大統領選挙第 1 回投票(6 時~20 時)。</p> <p>21 日 国家選挙管理委員会, 大統領選挙第一回投票結果を発表(コモロフスキ大統領代行(市民プラットフォーム)41.54%, カチンスキ「法と正義」党首 36.46%, ナピエラルスキ民主左翼連合党首 13.68%。投票率 54.94%)。いずれの候補者も過半数を獲得できず, 上位 2 者で決選投票実施へ。</p> <p>22 日 トウスク首相とパヴラク農民党党首, 任期中は連立政権を継続することで合意。</p> <p>22 日 両大統領候補による公立病院民営化をめぐる発言に関する再審裁判で, ワルシャワ控訴裁判所は一審判決を維持。カチンスキ大統領側は上告する旨示唆。</p> <p>24 日 ワルシャワ控訴裁判所, 公立病院民営化をめぐる発言に関する裁判につき, 判決の正当性を認め, 上告を却下し, 判決が確定。</p> <p>25 日 パヴラク農民党党首, 大統領決選投票に際し, いずれの候補者への支持も表明しない旨発表。</p> <p>26 日 市民プラットフォーム全国大会開催。トウスク首相が党首として再選。</p> <p>27 日 両大統領候補者による TV 公開討論。</p> <p>28 日 カチンスキ「法と正義」党首, 英国を訪問し, キャメロン英首相と会談。</p> <p>29 日 ナピエラルスキ民主左翼連合党首, 決選投票においていずれの大統領候補も支持しない旨表明。</p> <p>30 日 両大統領候補による第 2 回 TV 公開討論。</p>	<p>ンから撤収することを保証すると発言。</p> <p>15 日 アフガンニスタンで, 反政府武装勢力によるロケット攻撃を受けポーランド軍兵士 1 名が死亡。</p> <p>16 日 シコルスキ外相, デンマーク訪問。</p> <p>16 日 クリフ国防相及びマイェフスキ空軍司令官, リトアニア訪問(-17 日)。</p> <p>17 日 トウスク首相, 欧州理事会に出席。</p> <p>18 日 アモリン・ブラジル外相, ポーランド・ブラジル国交樹立 90 周年を記念し, ポーランド訪問。</p> <p>18 日 ドヴギェレヴィチ欧州担当閣外相, ベルギー訪問。</p> <p>19 日 在ベラルーシ・ポーランド人連盟(ZPB)新代表にオレフフォ副代表が就任。</p> <p>21 日 コモロフスキ大統領代行, シコルスキ外相, クリフ国防相及びコジェイ国家安全保障局長官, アフガンニスタン訪問(於: ガズニ, カブール)。</p> <p>21 日 オルブリヒト国防省事務局長とロビー米国防次官補, 両国間の情報交換及び情報網保護に関する協定に署名(於: ワルシャワ)。</p> <p>21 日 バフラ駐マケドニア・ポーランド大使とコニャノフスキ・マケドニア国防相, 両国間の防衛協力に関する協定に署名(於: スコピエ)。</p> <p>21 日 ポーランド検事総局, 政府専用機の墜落事故に関し, ロシア作成の資料約 1300 点を受領。</p> <p>22 日 コモロフスキ大統領代行, ポーランド・ベラルーシ, 国境小規模移動協定に署名。</p> <p>22 日 コモロフスキ大統領代行, 大統領に当選した場合, 2011 年にアフガンニスタン派遣部隊の規模を縮小し, 2012 年には撤収すると発表。</p> <p>23 日 シコルスキ外相, ワイマール・トライアングル外相会合に出席(於: パリ)。</p> <p>24 日 ヴェスターヴェレ独外相, ポーランド訪問。第 14 回ポーランド・ドイツ・フォーラムに参加。</p> <p>24 日 国家安全保障評議会が招集され, ポーランド軍のアフガンニスタン派兵につき議論。</p> <p>25 日 新海軍司令官にマテア中將を任命。</p> <p>26 日 ポーランド軍アフガンニスタン派遣部隊工兵 1 名, 爆発物除去作業中の爆発により死亡。</p>
--	--